

令和4年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	79	学校名	浜松城北工業高等学校	記載者	鈴木 真一
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を高める授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業に、自分の考えを表現する場面や対話する場面が取り入れられていて、理解を深めることができる」と答えた生徒90%以上 ・授業アンケートで「授業が分かる」と答えた生徒80%以上 ・授業参観をした教員80%以上 ・観点別評価の着実な実施、具体的な評価規準の作成 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・変化の激しい多様性の時代を生き抜くためには、「考える力」をつける教育が必要と思います。 ・1人1台の端末の目的や利用方法を明確にしないと、考えないで情報から判断してしまうことが多くなる危惧があります。 ・「わかる」授業を根底に、指導のポイント、生徒の実態を的確にとらえ、教師の個性や熱意が伝わる学習が、展開されていた。 ・端末の一人一台を機に、授業構成や交流の仕方等が大きく変化し前進していくものと思う。 ・マイスター・ハイスクール事業が共有化され、校内の随所に新たな風と活気を生んでいた。 ・観点別評価を着実に実施し、学びの充実や個々の成長につなげている取り組みは、常に前進・常に一歩前へとチャレンジしている姿で、本校の今年の充実を実感した。 ・マイスターハイスクール事業の効果が出たことは非常に良かったと思います。この効果が今後も全体に波及すると良いですね。 ・全校が一丸となりマイスター・ハイスクール事業に取り組みました。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
	基礎力の定着、学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「力がついたら実感できる」と答えた生徒80%以上 ・国数英の教員が基礎力診断テストの分析結果を授業改善に活用 ・1、2年生の学習時間調査で「1日の学習時間30分以上」と答えた生徒90%以上 ・「進路を意識した具体的な取組をしている」と答えた生徒80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・読み書き算盤とよく言われましたが、基本をしっかり学ぶ体制と、何のために勉強するのかの気付きの機会を設けて欲しいと思います。 ・反復練習や、学習習慣の定着は土台となる力（根っこを養う。）をつけるために必須。また、まじめに努力することの尊さも培っていると思う。 ・夢を持ち、具体的に努力し、乗り越えていく体験が自信につながると思う。進路について、生徒に応じて、きめ細かに根気強く対応・指導している姿は本校の自慢の一つだと思う。 ・テストの結果を授業改善に活用された効果が大きく出るといいですね。PDCAサイクルが継続的に進む事を期待しています。 ・基礎力の分析結果を授業改善に繋げました。
ア	資格取得・検定合格に向けた指導	<ul style="list-style-type: none"> ・技能検定合格 3級100人以上 2級 5人以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各技能検定合格制度は、工業高校ならではの価値ある指導である。 ・3月の結果に期待したいです。 ・取組目標に対する成果目標を達成するために、取り組むべき行動目標を明確にし、その行動が達成できたかの評価も必要と感じる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・電気工事士合格 2種 30人以上 1種 15人以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯に必要な技能は、あの棟「工場」で学んでいる。」と思うと、意義深い。 ・取組目標に対する成果目標を達成するために、取り組むべき行動目標を明確にし、その行動が達成できたかの評価も必要と感じる。 ・第一種の目標達成に向けさらなる取り組みが必要です。
		<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術検定合格 3級 90%以上 2級 50%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・取組目標に対する成果目標を達成するために、取り組むべき行動目標を明確にし、その行動が達成できたかの評価も必要と感じる。 ・3級の目標達成に向けさらなる取り組みが必要です。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	資格取得・検定合格に向けた指導	<ul style="list-style-type: none"> ・計算技術検定 3級合格 90%以上 	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はB評価に対しての結果は残念ですね。 ・取組目標に対する成果目標を達成するために、取り組むべき行動目標を明確にし、その行動が達成できたかの評価も必要と感じる。 ・目標達成に向けさらなる努力が必要です
		<ul style="list-style-type: none"> ・機械製図検定合格 60人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校のよさ・特色を、自信をもって紹介していきたい。 ・取組目標に対する成果目標を達成するために、取り組むべき行動目標を明確にし、その行動が達成できたかの評価も必要と感じる。
イ	基本的な生活習慣の確立、規範意識の育成、他者を尊重する態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・無遅刻者の割合85%以上、遅刻延べ数前年度比10%減 ・交通事故ゼロ ・「校内スマホルールを守っている」と答えた生徒95%以上 ・「自分も他の人も大事にしている」と答えた生徒90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「時間を守る」は、社会の当たり前。生徒で考える機会が必要ではないでしょうか。 ・交通事故の恐ろしさを知らない生徒が多いのではないのでしょうか。被害者加害者の事故後の対応などを知らせてほしい。 ・「時を守り、場を清め、礼をつくす」は、生涯必要なことなので、守らせたい。遅刻の原因を調べ、それに応じた対応をしたい。 ・スマホの効用と、負の作用や危険性等々、ルールを周知徹底して行ってほしい。 ・時間に余裕を持った行動が出来るといいですね。 ・交通事故ゼロの目標に対して、実績18件への具体的施策が必要と感じる。 ・目標「交通事故ゼロ」は実態を鑑み、0件/月を年に6回等とすれば良いと思います

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
イ	いじめや不登校生徒への相談体制の整備、教職員の対応能力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関する調査を年2回実施 ・「信頼できる先生がいる」と答えた生徒85%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の信頼度 85%はすごいと思います。信頼の文化を構築されてきたのは、双方の感情的な結びつきが強いからだと思います。 ・教師たちが、生徒に目掛け、声掛けをしていて、互いの信頼関係がよいと思う。教師のプロとしての力量や対応は、素晴らしいと感心する。 ・生徒の本音を引き出せるように先生方も上手に寄り添ってあげてください。 ・各取組が有効に機能しました。
	新型コロナウイルス感染症への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動における感染者及び濃厚接触者ゼロ 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「正しく恐れ、感染対策を徹底していく。」方法しかない。 ・教育活動でゼロは素晴らしいと思います。 ・成果目標に無理がある。実施すべき対策を実施できていならば、評価できる。 ・感染は外的要因によるものが多数でした。
ウ	望ましい勤労観・職業観の育成、体系的なキャリア教育の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「必要な進路情報が入手出来ている」と答えた生徒85%以上 ・インターンシップに60人程度が参加し、生徒の自己評価75点以上及び企業の評価A（良好）がともに75%以上 ・1次募集での内定率85%以上、年内内定率100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップで、いろいろな企業の風土に触れる機会は、就職後はほとんどなくなります。是非、多くの生徒さんに体験をしてほしい。 ・実技指導の中で、体験を通して学ぶことは、多面的で総合的な力を培っている。実学の厳しさ、「もの」づくりの楽しさも味わわせていると思う。これが、仕事へとつながっていくものと思う。 ・我々もインターンシップを受け入れています。未だにどのようにしたら生徒の皆さんにとって有意義な時間を提供できるかが社内では課題になっています。今後も先生と協力し合えるように進めていきます。 ・授業・実習を通じて生徒が正しく勤労観を身に付けており、結果に繋がりました。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
	共生意識の醸成、特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・交流事業15件以上 ・特別配慮を必要とする全ての生徒について情報共有の場を設ける。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校が身近にあることは財産である。多様性、人権、人間の可能性や思いやりの大切さを学んでいる。弱者への視点を考えるよい機会ともなっている。 ・交流が盛んに行なわれ、分校の運営協議会出席時にも好評を得ていました。
エ	特別活動や部活動を通じた、協調性・積極性・達成感・忍耐力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活に達成感・満足感を持っている」と答えた生徒80%以上 ・「部活動に積極的に参加し、やりがいを感じる」と答えた生徒80%以上 ・休養日及び1日の活動時間を遵守した部活動の割合80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感や満足感80%以上であるので、きっと苦労や努力をしている成果だと思います。 ・部活動に生き生きと取り組む生徒。目標を持ち、チャレンジする姿、友と競い合う姿、力の限り頑張る姿は感動する。これらが、人間性を培っていくので、高校時代に存分にチャレンジして欲しい。 ・部活動で成績に関係なく努力評価も見えるようになるといいですね。 ・運動・文化・技術の各部活動が盛んに行なわれ、結果も残すことができました
	読書活動を通じた知性・感性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「1か月間に1冊以上の本を読んだ」と答えた生徒70%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書をとおして、読書を習慣化してもらいたい。日本の企業人の多くは、先進国の中でも最低のレベルで勉強しない結果が出ています。 ・朝読書、図書室の充実、具体的な目標等、充実している。 生涯にわたり、読書し続け、自ら考え豊かな人へと成長していく礎になっている。 ・読書によって身に着けることも多々あると思うので素晴らしい活動と思います。 ・本活動を遅刻者削減に繋がれると尚良いです

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
エ	社会貢献活動を通じた社会性・人間関係形成能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の社会体験活動等に年間35時間以上参加した生徒35人程度 	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の希薄なボランティア精神の機会を作ってほしいと思います。 ・コロナ禍で、自粛気味であるが、少子・超高齢化社会の到来に、「助け合う社会の構築」は必要。〈おたがいさま〉の心を育てていく機会になるものと思う。 ・来年度は、コロナの影響が減ると思いますので達成させてあげたいですね。 ・コロナの影響もある。成果目標の設定の検討が必要と感じた。 ・環境に優しいエンジニア育成に関わる内容と思われるため、取り組みの見直しが必要です。
	環境意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・「省エネや分別など環境を意識した行動をしている」と答えた生徒85%以上 ・ゴミの分別100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の先駆的な働きをしてきているので、伝統を継承してほしい。環境問題は、今、地球規模で、まったなしの状態である。SDGs等、取り組むことも可能だと思う。 ・環境意識は見える化するとより効果的だと思います。
	技術系各種競技大会への積極的参加	<ul style="list-style-type: none"> ・各種大会での上位入賞 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・城北工の頑張っている様子や、好成绩の生徒が、新聞等で知るとうれしい。大会には継続的に参加し、本校の培ってきた力を、発揮し、広報へとつなげたい。 ・素晴らしい結果と思います。 ・素晴らしい成績を多数収めることができ、誇らしいです。
オ	外部との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を3回実施 ・マイスター・ハイスクールの実施計画書に記載した取組の着実な実施 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業との連携で教育することは大賛成です。これからは、一つの専門領域ではなく、あらゆる分野との連携が必須になるかと思います。 ・マイスター・ハイスクールの実施は、産業化と直接つながり、本物に触れ、一流を目指すと、新たな扉が開き、生徒たちの感動が伝わってくる。 ・マイスター・ハイスクールは非常に上手く進めたようで良かったです。 ・本校の近況が分かり易く伝わりました。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
オ	中学校への広報、 中高連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・一日体験入学、学校公開への参加者の前年度比増 ・HP、インスタグラム等の充実と更新頻度の向上 ・志願者数の増加 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校のよさ、強みをもっと広報していきたい。(強みで勝負) また、女子生徒がもっと入りやすい科や方策も検討したどうか。
	保護者への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「一斉メールで、学校からの情報が分かりやすく伝えられている」と答えた保護者90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・効率よく、情報交流ができ、保護者との信頼関係も充実。非常時対応にも効果を発すると思う。 ・過不足なく情報提供できました。
	信頼される事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情ゼロ ・人員減に対応し、引き続き円滑な業務を遂行 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧な対応をしていただき感謝しています。 ・対外的にも適切な対応ができました。
カ	みんなで円滑処理、 休暇は休もう	<ul style="list-style-type: none"> ・出張関係書類の漏れのない記載と期限内の提出 ・ペーパーレス化により、業務が改善したと答えた教職員70%以上 ・夏季休暇の完全消化 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個人単位で業務をするのではなく、チームで行いお互いが補って仕事を進めていくスタイルが多くなってきたように思います。 ・人を育てるという大変な仕事に大きな意義を感じます。数字や時間を管理することもやむを得ないが、もっと楽しく仕事をしていただければ働きがいも向上していくものと思います。 ・ペーパーレスに向けて、大胆に具体的に実践してほしい。 ・働き方改革、生き方改革の時代。真の豊かさを考えて、長期的な視点で今を生きたいと思う。 ・タブレットの運用がうまく行くことを期待しています。 ・成功体験を今後につなげ、さらなる拡充を図ることができれば良いと思います。